

県連ニュース

2019年 12月号 NO-509



『七々頭岳祠前で野点 (2019.10.27)』

滋賀県勤労者山岳連盟

2019年 12月号 目次

エッセイ	錦秋の里山……………	2
案内	2020 雪山基礎講座募集 (第2報) ……	4
	近畿ブロック搬出技術講習会	
	尾根搬出、岩搬出、岩のセルフレスキュー……………	5
	ハイキングコース……………	6
	救助隊 積雪期搬出訓練 京都府連……………	7
報告	第9回理事会報告……………	8
	近畿ブロック代表者会議……………	9
	登山祭典報告	
	荒神山 ちごゆり山歩会……………	12
	京都トレイル 湖南岳友会……………	13
	比叡山 滋賀山友会……………	14
	余呉七々頭ヶ岳 比良雪稜会……………	15
	大文字山 彷徨クラブ……………	16
	ハイキングセミナー……………	17
	近畿ブロック搬出訓練準備打ち合わせ……………	19
	ぐうたら会長のつぶやき……………	20
予 定 表	……………	22

表紙の写真：『七々頭ヶ岳山頂祠前での野点』

比良雪稜会 小原邦雄氏撮影

彷徨倶楽部 須藤その子

薄暗い杉林の中。細い登山道が高度を上げて沢音が遠くなると、野鳥たちのお喋りが良く聞こえる。更に一登りすると山と私は、ぱあっと眩しい朝日に包まれた。

山の神様が終日の快晴を約束してくださっているような澄んだ空気と陽射しに感謝。喜びを噛みしめ山腹を九十九折りにどんどん高度を稼ぐ。すっかり汗ばむ頃に傾斜は緩くなり、森林のマジョリティが徐々に色づきを増す広葉樹に変わる尾根道を、南に北に繰り返して巻きつつ登り、やがて一目何色か分からないほど視界一杯の紅葉に出くわして足を止める。

赤と言っても色とりどり。薄い黄色、濃い黄色、光の加減でゴールドに見える。朱色、橙、オレンジは色の境目が分からない。淡い優しいグリーンもある。それらが一斉に陽を受けて輝く様子は本当に素晴らしい。これぞ錦秋。里山の雑木林万歳！

紅葉最盛のタイミングと好天に恵まれた幸福感に浸りながら分岐の大タワに到着。周囲の山並みをぐるりと見渡せば、ほとんどが杉で緑が優勢だけれども一角だけ色とりどりの紅葉が点在する山腹や、既に落葉が進み木立が櫛のように見える高い稜線もある。

馴染みの丸太に腰を下ろして水とお握りを一つ。ついでに甘いパンも一つ。目指す A 山まではあと 30 分程度、この先は真紅が多い背の高い紅葉を陽にかざして見上げつつ、そして陽当たりの良い谷側の斜面の紅葉を眺めながら歩く、楽しみなルートだ。

実は A 山で下山するか、その一つ先の B 山まで足を伸ばすか少し悩んでいる。A 山ピークで判断することになっているが、もうすぐその時だ。

B 山まで行けば、下山はその先の最短ルートを一気に下れば日没に間に合う。山間のバス停から、運が良ければ最終の 1 本前に乗ることができる。しかし A 山で折り返し、下山は巨木の周遊コースを行けばまた違う風情の紅葉をのんびり観賞しながら歩き、ゴールのバス停前の農産物直販所で何か新鮮野菜をゲットできそうだ。どちらかといえばかなりそのつもりで、お土産用に大きめのザックを背負って来ている。そこは始発のバス停なので並んで待てば駅までの一時間、座り眠って行ける魅力も大きい。ほとんど気持ちは決まっているものの、A 山ピークから B 山に直面した瞬間に B 山まで行くことを決断してしまうこともありえる。ちょっと気持ちが急いでくる、立ち上がり歩きを再開。落ち葉を踏む感触が快い。

殆どのサラリーマンに定年があるように、私にもある。しかもその時まで残りわずか二年半。入社数年後、職場のイベントがきっかけで始めた登山は周囲の山の先輩方に恵まれ、仕込んで頂いたお陰で、今日まで続けることが出来ている。高かれ低かれ四季折々、年間を通してほぼ毎週末山歩きを満喫できることは幸せだ。

でも週末の雨は悲しい。天気予報がはっきりしない時も困る。気をもんで日に何度も天気予報をチェックしつつ迎えた週末が土日とも雨だった時の落胆。その数日後、勤務中に、既に会社を卒業した先輩方から「天気良さそうなので急遽登ってきました」と快晴の写メが届くことがある。

残業続きで寝不足でも始発電車に乗り込み、下車駅の階段に最も近い車両のドア横に立ち、飛び出し、手すりにつかまりながら階段を駆け下り、若者たちに抜かれつつ走り、週末だけ満員の登山口への路線バスの座席をなんとか確保する。電車の乗り換え時も出来る範囲で猛然とダッシュせざるを得ない。

夜行バスで眠れないまま未明から歩きだす弾丸登山は当たり前。山小屋でギューギュー詰めになる週末の夜は覚悟して出かけても辛い。降水確率が気になるけれど決行してしまわずにはいられない連休の小遠征。数年に一度、折角の海外登山もギチギチの日程で私一人後追い合流、先に帰国をしたこともある。

週末にこだわらない素晴らしい山行計画を伺う時など、いつも「定年退職したら平日登山三昧」と自分自身に将来のご褒美を誓ってしまう。そして、そのご褒美を享受する時は、いつの間にか目前だ。

しかしここにきて「人生百年」「70歳定年」など新説が幅を利かせてくると、新たな欲と迷いが生じる。目指すピークと信じ最後のアプローチをしていると、実はニセなんとかの頭と教えられる、そんな時の気持ちと少し似ているかもしれない。この先もまだ10年以上働く選択肢があるというが、私の10年後の体力がどうなるのか非常に心配だし、頭も柔軟性も、もう既にかなり怪しい。なにより、そんなに長くご褒美を我慢している間にポックリ逝っては堪らない。現職場では定年退職後の再雇用は一年毎に更新できるという。一年毎ならとりあえず最初の一年は延長の打診をしてみようか、冗談のふりをして週休五日でもちかけてみようか、悩み始めている。

いや、会社統廃合の激しい嵐に何度も煽られつつも不思議と生き延びてきた。まさかここまで長く働かせて頂けるとは全くの想定外で、もう既に十分だ。いや、十分ではないかも。来年早々またしても分社化が決定しているので、もしかしたら定年退職を全うできない可能性もまだある。

おっと！

ルートを外しかけて我に返る。いかん。こんな最高の日に答えの出ないことを考えていては勿体ない。

今はこの、錦秋の里山歩きを満喫しよう。

雪山を楽しもう！

--- 雪山基礎講座 2020 開講のお知らせ ---

この講座は、経験はないけれど雪山に登ってみたい、あるいは少し経験はあるがもっといろいろな雪山に登ってみたい、そんなひとが対象です。

雪山は美しい。自らが刻んだひと筋のトレールを振り返るとき、その達成感はどうな言葉をもっても表現できません。でも、雪山は危険もいっぱい。実戦的な技術と知識を学んで安全に雪山を楽しみましょう。「わくわくする山」を目指して、いざ、白銀の世界へ。

■ **日 程** : 2019年12月~2020年5月

- ・毎月1~2回の山行を通じて、雪山登山に必要な知識と基礎的な技術を実戦的に学びます。連続して受講して頂くのが理想的ですが、毎回独立した内容なので都合のよい回のみのお受講も歓迎します。
- ・12月2日(月)のオリエンテーションで日程調整、装備確認を行います。

■ **会 場** : 2020年度はハヶ岳横岳、中央アルプス將其頭山、中央アルプス三ノ沢岳、北アルプス鹿島槍ヶ岳などを予定しています。受講者の希望も考慮して会場山域をオリエンテーションで最終決定します。

■ **講 師** : 秋田誠(彷徨倶楽部、日体協登山上級指導員)およびクライミング研究会々員

■ **主な講習内容** :

1. 雪上歩行(キックステップ、アイゼン、ワカン、スノーシュー)
2. ピッケルワーク(ピオレトラクション、耐風姿勢、滑落停止)
3. 雪上ロープワーク(スタンディング・アックスピレー、懸垂下降)

■ **募集人数** : 8名程度

■ **受講料** : 各回2,000円、申込金不要。その他、実技山行の交通費、食費、装備費など1回につき実費10,000円程度が必要です。

■ **申込み(問合せ)と期限** :

090-3727-3721(秋田)またはメール dekameno@gmail.com
ショートメールも可。 **期限 11月30日(金)**



雪洞訓練、奥美濃・大日ヶ岳 2月



修了山行、北ア・爺ヶ岳東尾根、5月

<案内>

近畿ブロック搬出技術講習会

尾根搬出、岩搬出、岩のセルフレスキュー【事前申し込み制】

- 日時 2020年4月5日(日) 8:00 受付開始 8:30~15:30 雨天決行、警報発令中止
- 場所 百丈岩やぐらおよび百丈岩周辺 (JR 道場駅より徒歩約 30 分)
- 内容 引き上げ引き下ろしシステムのレスキュー、背負い方法等のレスキューシステムを実践で学ぶ。
- コース

- ・尾根コース・岩コース (初級者・経験者コース)
- ・岩セルフレスキューコース

いずれのコースも事前受付となります。 (岩セルフレスキューコースは先着 10 人です)

●装備

- ・尾根コース: ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、安全環付カラビナ*、スリング*、デージーチェーン又はパス、確保器*、カラビナ* 等
- ・岩コース・岩セルフレスキューコース
ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、確保器*、安全環付カラビナ*、デージーチェーン又はパス*、カラビナ*、クイックドロロー*、スリング*、アブミ、ハンマー等

*は必須装備です 上記の他、各コースとも一般装備 (行動食、水筒、雨具等) 必要。

●対象者

- ・岩登りの経験があり、搬出技術の向上を目指す方。
- ・「岩セルフレスキューコース」は搬出技術講習会の参加経験者で主に岩登りをされる方のみとします。
- ・新特別基金、又は、それに準じる山岳保険加入者。

●参加費 1000 円

- 前年のテキストをお持ちの方は持参してください。修正、追加分は当日お渡しします。当日、必要な方は 500 円で販売します。

●申し込み方法

参加していただける方は 3 月 9 日 (月) までに友永に連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

<特記事項>

- 雨天決行です。当日の朝の 7 時 30 分時点で警報発令時は中止します。
- 訓練中の事故等に対しては自己責任での安全確保をお願いいたします。各コースともヘルメットのない方は参加できません。
- 前夜泊は鎌倉峡河原にてテント泊可能です。(場所に限りがあります)
- お車でお越しの方へ
 - ・当日はたくさんの参加者が予想されます。出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。車の場合は、道場駅前の駐車場か鎌倉茶屋管理の奥の駐車場 (いずれも有料) をご利用下さい。

- ・道場駅からやぐら前まで路肩は駐車禁止とします。
- ・百丈岩やぐら前は講習会場として使用しますので駐車できません。
- ・夜間遅くに来られる方は、近隣住民の方へのご配慮をお願いします。

●参加者事前登録への協力について。

講習会当日の受付が大変混雑いたしますので、参加者の登録を事前
にお願いしております。登録方法は左記 QR コードまたはリンクア
ドレスから WEB フォームに直接入力してください。PC・スマホ
が困難な方は当日受付にて登録票の記入をお願いします。

(WEB フォーム入力締切 4 月 1 日)



<https://forms.gle/bYETEUyzNc56wjcm9>

<案内> **第 41 回 近畿ブロック搬出技術講習会**
ハイキングコース

●日時 2020 年 4 月 5 日 (日) 9:30 受付開始 9:50~15:30 雨天決行

●集合・会場

明日都浜大津 4F「ふれあいプラザ」ホール

〒520-8530 滋賀県大津市浜大津 4 丁目 1-1

TEL 077-527-8351

●持ち物 山行時の装備一式

(昼食、水筒、雨具、ストック、三角巾、スリング<120cm・60~100cm>、カラビナ等)

●内容 応急手当、搬出技術

●対象者 ハイキングの山行リーダー及びハイキングでのレスキュー技術の習得を目指す方。

●参加費 500 円

●前年のテキストをお持ちの方は持参してください。修正、追加分は当日お渡しします。
当日、必要な方は 500 円で販売します。

<特記事項>

●講習中の事故等に対しては自己責任でお願いいたします。

●軽登山靴、または運動靴で参加可能です。

●参加していただける方は 3 月 9 日 (月) までに友永に連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

●参加者事前登録への協力について。

講習会当日の受付が大変混雑いたしますので、参加者の登録を事前
にお願いしております。登録方法は左記 QR コードまたはリンクア
ドレスから WEB フォームに直接入力してください。PC・スマホ



が困難な方は当日受付にて登録票の記入をお願いします。

(WEBフォーム入力締切 4月1日)

<https://forms.gle/bYETEUyzNc56wjcm9>

※まだ案の段階です。変更があるかも知れません。

救助隊 積雪期 搬出 訓練 の案内 京都府連

実施日: 2020年1月26日(日) 降雪、雨天決行

対象者: 雪山ハイキングや雪山縦走に参加されている方

受付: イン谷ロトイレ前広場 8時30分 開始; 9:00 15:00 反省会後解散

場所: 正面谷周辺

内容: ビーコン、プローブ 訓練、ラッセル歩行訓練、負傷者の梱包、引き上げ引き下ろし

持ち物: 積雪期の日帰り個人装備 ビーコン、スコップ、プローブ、ヘルメット、ハーネス、等
必要な登攀用具(原則、アイゼンは使いません)

ビーコンやプローブ、スコップ、ハーネス、登攀装備を持っていなくても、参加可能です。(ビーコン、プローブ訓練の時は見学だけでも勉強になります。登攀装備がなくてもメットがあれば負傷者搬送のお手伝いはできます)

締め切り: 2020年1月10日(金)

上記のように京都府連から案内が来ました。

参加希望の方は1月9日(木)までに友永に連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

<報告> 2019年度 第9回理事会 議事録

日時 11月14日(木) 19:00 - 20:30 司会 宮内

出席 友永、宮内、中島、池田、高玉、古川(記録)、今村、渡壁、藤関
(理事会定数11名)

欠席 (連絡有) 濱、田中、飯野

議事:

1. 登山祭典の報告

雪稜会 51名(一般23名) 岳友会 42名(一般23名) 山友会 24名(一般3名)
ちごゆり 14名(一般4名) 彷徨 7名(一般2名) 合計 138名(一般55名)

2. 来年度の比良縦走大会について各会からの意見報告

雪稜会 ・成功させるよう努力が足りない ・長い距離は交通手段を考えればよい。

岳友 ・各会に任せたらどうか(県連の役割を徐々に縮小すべき) ・長いのはそこそこに ・存続大変である

山友 ・倒木のため歩きにくくなっている、高齢化で参加者も少ない(経験済み)、
理事の負担軽減にもなるので中止したらよい。

・交流の場を目的とした企画に変え、各会輪番制にしてもよいのではないかと
まとめ これらをもとに次年度の議案を作成すること(今村理事)

3. 総会議案書草稿作成

・2019年度活動報告/2020年度活動計画案の草稿を宮内まで(期限 12/10)

担当 教育遭対部(今村)、自然保護部(中島)、機関紙部(古川)、組織部(濱)
財政部(田中)、救助隊(友永)、CSS(秋田)、SKINET(濱)

・総会までの日程 下記の通り決定

1/16(木) 第11回理事会 : 議案検討1 今年度の事業報告

1/30(木) 第12回理事会 : 議案検討2 決算案検討、次年度計画案と会計報告

2/ 未定 会計監査

2/13(木) 代表者会議/第13回理事会 : 議案検討、決算・予算案検討

2/ 未定 議案書印刷、製本、郵送(2/ 機関紙発送と同時に望ましい)

3/5(木) 第14回理事会、総会準備(理事会前午後4時位から資料集印刷当日会場渡)

3/8(日) 第44回定期総会(滋賀県スポーツ会館)

4. 各部報告

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ
72/72	51/51	49/44	14/13	17/17	5/5
合計 2019.10E/2019.9E					
208/202		103 %			

・組織: 会員数動向 (前年度末比 208/206 101 %)

遭難・対策

ハイキングセミナー(Ⅰ)10/26 講師2名、受講生1名 (Ⅱa)11/2 講師2名、受講生1
名 (Ⅱb)11/9 講師2名、受講生1名 予定(Ⅲ)11/16 講師2名、受講生1名

岩登り 予定 11/30 三上山 参加予定1名

- ・機関紙部 12月号 11/15締め切り 11/20印刷・発行 2020議案議論する
- ・自然保護部 10/19近畿ブロック交流ハイク「友ヶ島」雨天中止
2020 1/10近ブロック自然保護委員会
- ・救助隊 10/30近畿ブロック全体会議 別紙にて詳細報告
11/15 第3回京都・滋賀打合せ→場所未定
都合のつく理事の方も参加してもらえれば歓迎です。
- ・財政 欠席 特になし ・SKI・NET // ・CSS //

5. その他

- ・近畿ブロック代表者会議報告 主に財政を議論:赤字 20万円以下を目標、全国連よりの補助増額を目指す、その他別紙にて
- ・全国自然保護担当者会議(11/16~17 全国労山事務所 欠席)
- ・栄誉功労賞の申請 推薦枠1名 各会より推薦する場合県連へ連絡のこと
- ・永年会員賞 20年以上在籍の会員 各会でまとめて窓口・宮内まで 12/31
- ・組織数の報告 11月末の男女別人数 次回理事会まで(宮内)全国連に12/25まで
- ・第34回労山 全国連総会 2020年2/15~16 東京 (代議員 友永会長出席予定)

次回第10回理事会 12月12日(木)19:00 ~

<報告>

近畿ブロック代表者会議

2019年10月16日(水) 19:30~ 大阪府連事務所

■出席 滋賀(友永)、京都(坪山)、大阪(園)、奈良(前田・豊田)、和歌山(山入)、兵庫(門脇)、
全国(加納)

■議題

(1)近畿ブロック財政について&(2)今後の進め方

①支出の見通しと予算化

近畿ブロックの会費の値上げは今のところ考えない。

雪崩講習会については予算化しているが、搬出講習会の予算化はされていない。

→搬出講習会の予算化は参加者の把握が難しくなかなかできないが今後予算化を進る。

→前回の代表者会で20万円に抑えるよう努力することとなった(前年実績380495円)。

搬出講習会の財政健全化

→搬出講習会の必要性を代表者会で議論し明確にしていく。赤字が続いても実施するかどうか。

→講師・スタッフの人員見直しは実施している。

全国連盟への要請

→毎回 200 名を越える参加者があり安全登山へ有効な活動であることを強調する。

→全国総会前に予算案を立てて全国総会前に提案する。

(3)山筋ゴーゴー体操のサポーター養成講座について

・12/7.8 開催予定 参加費 2000 円、40 代以下の若い方の参加が望ましい。

・経費は全国連盟が負担するが、講師・スタッフの食事代や宿泊費の一部を近プロでも負担する(20000 円)

・事故を防ぐために山筋ゴーゴー体操の普及を目指す

・その指導者を広める活動として取り組む

・近畿ブロック主催で女性委員会が窓口となり、近プロ全体の取り組みとする。

(4)全国女性交流集会 10/26～27 和歌山県連

→全国連盟から実施要綱などの詳しい連絡がない。

→近畿ブロックの女性委員会が中心になって実施する。

→会場は紀三井寺になった。

→今のところ 112 名の参加がある。締め切りは 10 月 18 日

(5)搬出講習会について

→会場 岩は六甲山の百丈岩周辺

ハイキングは滋賀県の明日都浜大津4階「ふれあいプラザ」

→変更点

①テキストは各府県連盟のホームページよりプリントアウトしてもらう。

ホームページに掲載すれば著作権の問題が生ずる恐れがある。

②テキストは岩とハイキングと分割する。まだ検討中

③申込みもホームページの申込書の項目をチェックしてもらい事前に集約する。

各府県連盟へのフィードバックが必要となる。

※テキストも申込書も変更成算が得られなければ従来通りとする。

(6)各府県連盟の報告

①滋賀県連

→6/30 ナビゲーション入門講座実施 参加者 12 名

→第2期ハイキングセミナー実施予定 10/26、11/2、11/16

→ハイカーのための岩登り講習会実施予定 11/30 三上山

→会員数 9月末 202 名

→10/27 第 57 回登山祭典実施予定 5コース

→第1回ステップアップ実施 8/16～18 日向八丁尾根～甲斐駒ヶ岳 参加者 3名

→9/28 実施予定だった比良縦走大会は悪天のため中止。

②大阪府連

→10/20 大トレ縦走縦大会実施予定 参加者 約 300 人

→10/25～27 登山技術講座実施予定 百丈岩

→各種登山教室・講座実施

第5回はじめての雪山講習会 12/4～2/8 座学2回・実技3回

雪山リーダー学校 座学 10/23～3/4 7回 実技10/26～3/22 7回

→10/27 こども冒険学校 ハイキング 五月山

※いずれも詳細は大阪府連のホームページをご覧ください。

③奈良県連

→6/29 気象講演会実施 講師大阪・中川氏 参加者 67 人

→7/6 テーピング講座実施 好評だった。

→9 月開催予定だった広域創作訓練は中止

→10/27 交流山行 武庫川廃線跡ハイク

→2 月 ゴーゴー体操開催予定。

④和歌山県連

→10/19 近ブロ自然保護部会交流山行 参加予定 約 60 人

→10/20 障害者登山「ふれあいハイク」中止

→10/20 県連交流ハイク実施予定 三上坂？ 参加予定 40 人

→11/17 第 46 回長距離縦走大会

→メガソーラー計画反対署名活動実施中

⑤兵庫県連

→10/ 安全登山を考える会実施予定 今まで 25 件の事故があった。事故一報を使って

→7月 救助隊を再編し若返りを図った。

→六甲山にトイレが少ないので行政に働きかけて増設したい。トイレ問題の情報が欲しい。

⑥京都府連

→夏山での事故は 60～70 代が多かった。

→山本嘉正さんの講習会実施 約 140 人が参加。何人か入会した。

→登山教室再開 18 人参加

→11 月に各会交流会を実施予定

→11/12 山での搜索訓練実施予定

(7)会計より

→近畿ブロック会費未納の連盟は早く収めてください。

→搬出講習会の経費請求は4月末までに必ず行ってください

〈次回開催〉 日時/2020 年 5 月 20 日(水)19:30～ 場所/大阪府連事務所

司会 滋賀県連 記録 奈良県連

※次期の広域理事候補は野々脇さん

<登山祭典報告>

荒 神 山

○2019年10月27日(日) くもりのち晴れ

ちごゆり山歩会

報告 柴田久 写真 高山

○参加者: 会員10名 一般4名 計14名

○コースタイム:河瀬駅 9:27 出発 荒神山遥拝殿 10:00~10:10 荒神山神社10:40
~11:05 三角点あずま屋11:15~12:07(昼食) 展望台 林道途中小休止12:38~12:43 河瀬駅13:40

河瀬駅前では田村さんの準備体操、注意事項、コース説明を行い、向うに見える荒神山に向け9時27分出発。車の往来が少ない住宅地を通り抜け、田んぼ道を歩き、新橋を渡りしばらくすると荒神山遥拝殿に着く(10時小休止)。昔は頂上の神社まで行けない人がここからお参りしたようで今は頂上まで2本の林道がのびている。

今日は、この遥拝殿の裏手から本坂を登る。参道はうす暗い林の中、石段や石畳みの道となり、途中で一旦林道に出るがそこからひとのぼりで神社のある頂上に到着(10:40)。

荒神山神社の創建は古く、火の神様がまつられている。ご神木は宇賀璞(うがたま)の木で伊勢神宮の外宮のご神木の実を開祖行基が境内に植えたことに起源し、1200余年の歴史があるそうだ。めいめいお参りし休憩。神社横の広場からは琵琶湖をへだて、比良山から赤坂山まで見渡せるのだが、あいにくの秋がすみで残念!(ここで今日の案内を送っていた山友会の元会員さんと40年ぶりに再会する)

神社の裏手を通り三角点のあるあずま屋へと向かい昼食とする。澄んだ秋空なら伊吹や霊仙など鈴鹿の山々、碧い琵琶湖が美しいのだがここも残念!!そのかわり今日は風もなく秋日和、のんびり昼食をとり、火気禁止のためインスタント飲物でほっこりする。

ここで仕事のため地元参加の方が一足早く下山、私たちはここから来た道を少し引き返し、展望台経由で桜やもみじの多い日夏山林道を下り、新橋を渡って朝と一緒に道を河瀬駅へと向かい13:40着。解散。



<登山祭典>

京都トレイル

湖南岳友会

日時 2019年10月27日(日) 晴れ時々曇り
参加者 一般23人 会員19人 計42人

京都トレイルですが今回は、山科駅～京都大文字～如意ヶ嶽～大津長等山～大津駅のハイキングコースです。

9時山科駅に集合ですが一般の方や会員さんが三々五々30分前から集合願ひ9時前には全員集合。駅前の「登山祭典」と書かれたプラカードを頼りに受付を済まして、3班に振り分けて、毘沙門堂まで行き広場でCL



から、山行行程の説明、諸注意点の説明あり。今日1日を楽しく安全に過ごしましょようとの歓迎挨拶後出発。歩き出すのですが昨今の台風で主に杉でしょう、倒木や、途中で折れたり、横倒しでひかかったりの杉の7変化の悲しい光景。ただただ台風災害の驚異に驚嘆あるのみ。跨いだり、潜ったりと忙しい。ほどなくして大文字山頂。市内が一望。ここで昼食です。岳友の豚汁大会です。あったかい豚汁をおいしくいただきました。記念写真を撮りさあ如意ヶ嶽へ出発、鹿ヶ谷(かの有名な鹿ヶ谷)の近く如意ヶ嶽、今は航空保安施設の構造物に如意ヶ嶽の表札がかけられて要るのみ、見落としましそうな如意ヶ嶽。ここまでの山道も跨いだり、くぐったりと様相は同じ。さあ長等山、長等山に着くと眼下に琵琶湖が一望できます。

小関越に出て大津駅までもう少し、一般の参加者も歩き慣れた方ばかりで小生よりもベテランに見える方ばかりで元気に大津駅に着。

会長の歓迎。ねぎらいの挨拶後、現地解散 参加の皆さんお疲れ様でした。

<登山祭典>

「比叡山」

滋賀山友会

実施日 2019年10月27日 曇りから晴れ

参加者 一般3名 会員21名 合計24名

コース 京阪坂本比叡山頂駅 8:00 集合⇒8:35 滋賀院(門跡)⇒8:45 琵琶湖病院駐車場 体操 8:55 無動寺道⇒10:15 紀貫之墓⇒10:45 ケーブル山頂駅⇒11:35 大比叡山頂 12:15 12:50 根本中堂⇒本坂⇒13:55 花摘の峰(418m)⇒本坂⇒14:50 日吉神社着 解散

報告 天気の心配もなく実施でき、次第に晴れ間もでてくる暑い位の日でした。一般参加3名と少なかったが、会員21名の参加もあり3班編成の大所帯。滋賀院(門跡)からはじまり要所でミニガイドがはいる山行でした。滋賀門跡から太穴積みの石垣の民家を通り無動寺道(千日回峰行者が通る道)を登り始める、トラバースの緩やかな登り、1つ目の石碑を通り過ぎ、しばらく行くと崩れた谷筋道手前に土嚢を敷き積めた丸太橋が架かっていた。

その先、2つ目の石碑を越えて分岐があった。紀貫之墓までの登山道は参拝者のために倒木の枝処理がされていた。ケーブルの「もたて駅」側を登り終点延暦寺駅についた。レトロな頂上駅舎、幻の「桜花」発射基地だったところを通り、ドライブウェイ道路を横断して大比叡への登山道にはいる。「大比叡」で集合写真を撮り昼食タイム。根本中堂は改修中では会ったが観光客でにぎわっていた。下山は、「花摘ノ峰(418m)」のピークを踏んでから単調な本坂を下るだけであったが、地図から花摘ノ峰から尾根を使って下りても本坂に合流すると判断して地図読みをしながら無事本坂に合流。合流した地点で私たちが下山した道とは違った登山道を発見!!花摘ノ峰の手前に下りる目印があったと納得。道なき道を歩く楽しさにも興味を持ってもらえたかなと思う。ほうらい駅を確認して、予定通りの時間に日吉神社前に到着後、解散した。(報告 M・M)



<登山祭典兼 野点山行報告>

湖北 七々頭ヶ岳(693・1m)

比良雪稜会(文:西田 写真:小原)

日 時 2019年10月27日(日) 曇後晴

参加者 会員28名 一般23名 合計51名

ブナ林に包まれた美しい三角形の山容、丹生富士とも呼ばれる 関西百名山七々頭ヶ岳に行った。昼頃から、快晴とか、10月末とは思えない 暑さが!

堅田駅に30分前に行くと、江若バスの運転手さんが既に待機。三々五々に会員・一般の方々が集まり、7:10 堅田駅スタート、小野駅 7:20、和邇駅・蓬萊駅等に寄り全員揃い、バス車中にて8:20 会長挨拶、班別人員点呼、行程等の説明あり。

道の駅あぢかまの里(8:50~9:08)にて受付(参加費徴収)・トイレを済ませ、9:37 菅並着。登山口で9:55 ストレッチ体操、班毎にCL・SLの紹介・挨拶。先遣サポート隊が倒木・小枝はらいのため鋸持参で出発。その後、一班~四班順次 登山開始 10:00 急な登り(50分程度)、杉林 10:13 が終わり自然林に紅葉、朴葉が沢山落ちていて。10:22~10:27 第一回の休憩。アキノキリンソウ、シロヨメナ、コウヤボウキ、ナナカマド(実が赤く熟し 見上げると空との対比で美しい)等々の花や木に出会う!

11:20~11:30 二回目の休憩。頂上付近はブナ林。台風で巨木が 横倒しの悲しい姿もあり、跨いだり、潜ったりと忙しい。12:00 頂上着。余呉湖、その奥に 竹生島が、絵心を誘う。伊香西国 23 番札所両洞山「西林寺」がある。今は、祠のみに! その左奥に、三角点がある。12:55 迄昼食。三角点前で、班別に写真を撮る。12:55~13:35 メインイベントの野点。優雅な風情、ほろ苦いお茶と茶菓(落雁)をいただく。13:35~13:50 瑠璃池を見て、下山開始。色々なキノコに話題が広がる。14:30~14:40 3 回目の休憩。スプレー缶を 木の先に刺し 道標代わりにしてあるのを、下見に来て下さった方々が、撤去・清掃を兼ねてのお世話を頂いたと聞き、今日気持ち良く歩かせていただく事に感謝する。帰りのバスは道の駅あぢかまの里で(16:05~16:25) トイレと買物に寄り、安曇川・和邇・ローズタウン・小野駅を經由し、18:40 堅田駅へ帰還! 皆様お疲れさまでした。



<登山祭典報告>

大文字山

2019.10.27 彷徨倶楽部

倶楽部HPリニューアルが抜群の効果を発揮、会員増が止まらない彷徨倶楽部、今年是一般参加者2名、会員5名、計7名のメンバーで大津京駅から長等山、大文字山を経て法然院経由蹴上までを歩いた。

8:30 駅前を西へ、京阪電車、湖西バイパスのガード下を通過、長等山に取りつき竹林の道を進むと程なく9:05長等山頂に到着、びわ湖の眺望を楽しみながら小休止する。台風で倒れたヒノキ林を抜け、如意ヶ岳を通過、11:00大文字山頂に到着。ふと周りを見渡すと、お世話になっている方がたくさん・・・。岳友会の皆さんで、逆コースを歩いておられた。昼食タイムとなり、メタボで腹減りモードの筆者は、京都市内の眺望を横目にカップヌードルみそ味と、おにぎり3個を食べ、今日のメンバーで六甲が庭、全縦も余裕でこなせるスリムなNさんに不思議がられてしまった。

12:00 大文字山頂発、8月16日の送り火にも想いを馳せつつ火床横を通過、13:15には法然院に到着、見学する。歴史と文化を肌で感じ、哲学の道を、南禅寺を経て蹴上へ。14:10 地下鉄蹴上駅に着き、無事解散となった。

(報告者 Y.H)



音羽山(ハイキングセミナー I)

2019年10月26日 曇りのち晴

(参加者)友永、馬場、中西みちる(滋賀山友会)

(コースタイム)

膳所 8:05---8:35 登山口 8:40---9:30 大谷分岐 9:35---11:20 音羽山 12:00---13:05 観音越 13:15---14:35 亀池分岐 14:50---15:20 平尾 15:30---16:15 膳所

(報告) 参加者は中西さんだけとなる。びわ湖放送までの坂道に行く。途中で電波塔と送電線と道路について説明した。びわ湖放送横の登山口で現在地を確認し進行方向を確認して出発。谷の中では谷の合流点が現在地の確認には有効であることを知ってもらう。赤丸をつけた地点で何故ここが現在地と判るかを説明しながら進む。大谷へ下る尾根にでた所で大

勢のパーティと出会う。京都の人たちらしい。鉄塔の所で、電波塔を使って現在地を調べる方法も実施したが、これは少し難しかったようです。やり方の基本だけ知っていただければ良いと思います。幾つかピークと鞍部を過ぎて自然歩道に出れば山頂も近い。土曜日だけに登山者も多く、食事後、千頭岳の二つのピークを探してももらう。これは比較的簡単だったと思います。これから先も赤丸を基準に現在地を確認しながら進み、546mを下った鞍部から自然歩道と分かれ平尾へ向かう道に入る。次の赤丸は若葉台へ向かうピークの分岐、さらに下ってやや広い場所に出る。左に行けば鳴滝不動、右に行けば観音口バス停に出る分岐。もうここからは特に迷う所はない。367 へ続く尾根と別れて平尾へ下る尾根に入り、急な下りをすませ、緩やかな尾根を歩き、二つある尾根の分岐を左、左とって菅原神社の前を通って平尾に出る。

谷から尾根の合流点、鞍部、ピーク、急登の終わる所と始まる所、大きく方向転換する所、送電線と鉄塔などの人工物が現在地の確認には最適です。地図読みもコンパスの使い方も慣れる事が必要です。これからも山行中に何度も地図を広げ、コンパスで進行方向を確かめて出発する習慣をつけてもらえればと思います。

参加者の感想

中西みちる(滋賀山友会)

音羽山にて地図読みをレクチャーしていただきました。進行方向の確かめ方と、遠くに見える山を地図で探す方法を教えていただきました。用意していただいた地図に、進行方向と、ポイント地点が丸囲みしてあったので、比較的分かり易かったですが、私は尾根と谷の区別も十分でないので、何も記入していなければ、現在地は全くわからないだろうと思いました。地図が読めるようになると、山歩きもより楽しいものになるだろうと思うので、少しずつ地図読みができるようになればいいなと思います。

いいお天気でしたが、霧がかかって幻想的な箇所もありました。水の音や風が心地よく気持ち良かったです。ご指導ありがとうございました。

音羽山(ハイキングセミナーⅡ)

2019年11月2日 晴

(参加者)友永、馬場、中西みちる(滋賀山友会)

(コースタイム)

大谷 8:20---9:10 大津駅分岐 9:15---10:25BBC下の分岐 10:35---11:35 音羽山 12:40---13:45 460mP13:50---15:40 観音口

(報告) 大谷駅に集合しトイレの所で今日の予定を話す。しばらく国道を歩き下に京阪のトンネル入口があるのを確認して集落に入り、墓地の所で現在地を確認し先に進む。谷沿いの道より尾根にでた所で現在地を確認する。倒木で少しルートが変わっていた。磁石で進行方向を確かめて出発する。予定している場所で現在地を確認し、進行方向を確認しながら行

く。またピークも確認しながら行く。急登をすませしばらく行けば1回目のルートと出会う。尾根を進み鉄塔に出たところで、大文字山や比叡山、水井山、三石岳などを確認する。前回歩いているのでピークの確認や現在地の確認は難しくなかったと思います。赤丸の地点を確認しつつ山頂に着く。山頂でも大文字山や比叡山、水井山、三石岳、愛宕山、牛松山を確認する。何組かの登山者がいた。牛尾観音分れを過ぎ、546mピーク先の鞍部で東海自然歩道と分かれる。しばらく下り460mピークに登る。少し休み尾根に行く。大きく右に下る所で現在地を確認して行く。下りきり少し進んで地図の小さなピークを確認する。ここから下った所が若葉台の下り口。ジグザグの道を下り溜池に出た所で、正面の頭上に見えるピークらしいのを地図上で確認する。コンパスの使い方にも慣れてこられて、比較的簡単に地図上で示された。ついでに右に見えるピークらしいものも調べてもらった。出発し、最初に出合う谷でもう一度現在地を確認して進む。谷沿いの道を歩き林道に出て堰堤の所で最後の確認をして下ればバス停に着く。元気な中西さんは駅まで歩かれた。

参加者の感想

中西みちる(滋賀山友会)

今日も秋晴れでとても気持ちよかったです。

今日の課題の一つはピークハントでした。いただいた地図の場所にピークの印がつけてありました。「これがピーク？」と思うようなピークも多くあり、見分けるのが難しかったです。二つ目の課題は現在地から見える山を地図で確認することでした。今までは何もわからず、いい眺めだなと思ってただ見ているだけでしたが、その景色がどこなのか分ると楽しいなと思いました。コンパスの使い方全くなりませんが、友永さんの親切な説明と地図と、馬場さんの優しいサポートのお陰で、ほんの少しだけわかるようになりました。ありがとうございました。

2020年近畿ブロック搬出技術講習会 第3回打ち合わせ報告

■日時 2019年11月15日(金)19時30分～

■出席者 京都:青山、西村、高岩 滋賀:友永

■議題

1. テキスト及びテキスト代

- 著作権の関係で各府県連のホームページに掲載するのは中止。参加者のプリントアウトも中止。
- 岩、尾根、セルフレスキュー、ハイキングとも共通である。
- 講習会赤字軽減のために資料代として今年は1部500円で参加者に任意購入してもらう。
(参加費とは別料金)

- 各府県連でテキストの内容をチェックしてもらい、変更点や削除、追加する項目を滋賀県連の友永までまでに連絡してもらおう。滋賀がテキストの訂正を行う。

2. 案内チラシ、事前参加集約表、当日申込書

(1)案内チラシ

滋賀が原案は作成済み。IQコードを掲載しスマホで簡単に申し込めるようにする。

各府県連、各所属会は原案をアレンジして作成する。原案は別紙参照。(ワード作成)

(2)事前参加集約表

申込書を各府県連のホームページに掲載し、参加者に各項目をチェックしてもらい事前に集約できるようにする。ホームページ掲載用申込書は京都で作成済み(高岩)

パソコン、スマホがない者はペーパーで申し込みを行う。注:上記方法については詳細検討中
ハイキングは各府県連が集計して滋賀県連にメールで送る。

岩は各府県連が集計して京都府連にメールで送る。

事前参加集約表の申し込み締め切りは3月9日とし3月14日までに滋賀京都に報告する。

(3)当日申込書

滋賀が準備→尾根搬出、岩搬出、セルフレスキュー分は京都に送る

3. 受付、案内体制

受付及びテキスト販売⇒岩、レスキュー、尾根班、ハイキング班共、各府県連1名出す。

案内・誘導 ⇒ハイキングは各府県連で要員を出す。(必要人数の決定)

岩、レスキュー、尾根班⇒案内・誘導はしない

4. 参加費ほか

ハイキング;500円 岩、尾根、セルフ;1000円 テキストは希望者のみ;500円で配布。

5. 受付方法

- ・参加者は事前にネットで申込書を書いてもらい、当日参加者の申込書と合わせて班分けを行う。
- ・申込書は班編成後に各班の班長に渡す。(講習会終了後、各班長は申込書を本部に返す)

6. 今後の予定

滋賀、京都の次回打合せ 2019年12月16日(月) 19:30~

※主なものだけ掲載しました。

ぐうたら会長のつぶやき

今回の近畿ブロックの搬出講習会の担当は京都と滋賀になっています。滋賀はハイキングを担当する事となりました。まだ時間がありますので都合をつけてたくさんの方に参加していただきたいと思います。

前回の和歌山は8班を受け持ちました。滋賀は6班を受け持つことになりました。各会に1~2班の講師とスタッフの派遣もお願いします。講師などの経験をしておられない方には事前に講習を行いたいと思っています。

また当日の受付や道案内などの人手も必要です。年が明けてからお願いする予定です。皆様のご協力をお願いします。

前日山に行って昼まで死んでいて頭が回らないので古い記録でお茶を濁します。

折立山~権現山 2014年6月17日 曇りのち晴

(コースタイム)

途中 9:30---10:55 640m 付近 11:05---11:50 折立山 12:05---13:10 権現山 13:30---
13:45 ホッケ道入口---14:15 旧道分岐 14:25---15:10 林道出合 15:15---16:30 蓬莱駅

(報告)

11年ぶりの訪問です。途中で下車、フェンスを開けてお地藏様への階段を登る。以前と同じ姿でお地藏様はおられた。横の植林跡を登って雑木林に入る。ほとんど人は歩いてないようだ。急な登りをすませ小さなピークに出て休む。420m 付近か？ 地図では緩やかだが、今の私には急な登りが続く。南からの尾根に出るとはつきりした踏み跡となりすぐ 560m ピークに着く。しばらく緩やかな尾根が続く。以前来た時は植林されたばかりの杉の上に比叡山が見えていたが、11年も経つと杉は成長し比叡山は見えなくなっていた。再び急な登りとなり少し緩くなった 640m 付近で休みこれから続く急登に備える。いよいよ最後の急登が始まる。頑張るが1ピッチでは山頂に着かず、途中の岩に腰掛けて少し休んだ。一步一步登り続けるしかない。やっと緩くなれば山頂も近い。11時50分山頂に着く。昼食をすませアラキ峠へ下る。道もしっかりしている。5分で峠に着く。ここから権現山への急登が始まる。溝のようになった登山道を登り続ける。息が上がってペースは上がらず。頭上に稜線が見え始めて13時10分ようやく山頂に着いた。びわ湖が眼下に広がり霊仙山も下に見える。ここで大休止をする。登山者が一人通り過ぎていった。緩やかな尾根を歩き、ホッケ山の登り始めで右の踏み跡に入る。以前の記憶では少し登ってから入ったように思ったが勘違いか。何となく様子も記憶とは違うが、他にそれらしい尾根もないし、テープも付けられていたのでそのまま下る。こんな急な下りが続いたらどうかと思った。斜面を巻きながら下り緩くなったら旧道分岐。旧道は谷に下るが、そのまま尾根の道に行く。何ヶ所が間違い易い所があった。こんなに判り難かったらどうか、ここでも遠い記憶を呼び覚ましながら下った。気がつくと尾根を外れ右

の斜面を下る道に入っていた。登り返すのも嫌なのでそのまま下り 15 時 10 分林道に出た。入口にテープがあったので登山口に着いたと確認できた。後は林道を歩くだけだが、思ったより長く続き 16 時 30 分やっとの思いで蓬萊駅に着いた。記憶という物は当てにならないものだった。

12 月は読図山行で下った尾根を登って音羽山に行きたいと思います。

12 月 21 日(土) 8 時京阪瓦ヶ浜駅集合

瓦ヶ浜～登山口～367mピーク～東海自然歩道～音羽山～大谷

参加希望の方は 12 月 18 日(水)までに友永に連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です

2020年度版 労山カレンダー 幹旋案内

コンパクトでおしゃれなカレンダーですよ。プレゼントにも・・・

ちょっとしたスペースにかけて、山への思いを想像してみては。

年内にお手元に届くように、12月の理事会で各会理事にお渡ししますので11月末締め切りとします。個人からの申し込みを受け付けます。

宮内 m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp

080-9566-9044

会員価格700円 (税込み)



9月「加賀白山観光新道に咲くマツムシソウ」

村田 正美

9月 会員9名で加賀白山に登り翌日は観光新道で下山途中 遠く別山を背景にマツムシソウが綺麗に咲いていた。



10月「秋深し奥工石山」

加持 千弦

登山を始めて2番目に登ったのが奥工石山。変化に富んだ登山道・縦走路の魅力溢れる大好きな山です。ユルギ岩からの眺めは最高！



11月「尾瀬晩秋」

武田 喜代人

11月の初め、10月でシーズンオフ、人影もなく肌寒い朝の光、木道の霜、遠くに見える至仏山、天気も良く感動の日でした。



12月「初冬の滝谷」

岡 孝雄

いつになく澄みきった滝谷。切り立った岩壁は新雪に覆われ、夕陽の反射で赤みを帯びて冬本番前の静かな夕暮れを迎えた。



表紙「立山三山の夏」

岡崎 次男

別山を登った帰り、雲海が下から上がってくる。岨岳を振り、振り返ると雲海が連続を感えようとしている。立山三山を。



「ふたつの故郷をもつ子供たち」

(レイハンル トルコ 2018)

撮影：小松 由佳

写真選者

小松 由佳

フォトグラファー。1982年秋田県生まれ。2006年、世界第二の高峰K2(8611m/パキスタン)の南南東リプルートより日本人女性として初登頂。2006年植村直己冒険賞受賞。次第に風土に生きる人間の暮らしに惹かれフォトグラファーを志す。2012年からシリア内戦・難民をテーマに撮影。シリア難民の自立支援活動も手がける。HP:「YUKA KOMATSU Photography」で検索

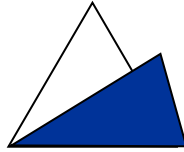
行事予定

日	県連・全国行事	日	各会の行事	会
		1	比叡山	岳友
2	雪山基礎講座2020 オリエンテーション	8	善峰寺～ポンポン山	雪稜
		8	竜王山(読図)	岳友
		8	ダイトレ(槇尾山)	彷徨
		14	忘年山行(武奈ヶ岳)・忘年会	雪稜
		14-15	忘年登山(十二坊)総会・忘年会	ちご
		14-15	忘年山行(武奈ヶ岳)	彷徨
12	12 理事会			
		15	六甲山	岳友
14-16	中ア・将基頭山 (雪山基礎講座2020/CSS)	15	ハイキング部例会	山友
21-24	野沢ゲレンデスキー(スキーネット)	18	ミーティング	彷徨
		21	ミーティング	岳友
28-1/1	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)			
		1	初日の出山行(権現山)	雪稜
		1	初日の出山行(権現山)	山友
		3	愛宕山・初詣山行	山友
		4	新春登山(武奈ヶ岳)	彷徨
		5	愛宕山・新年会	岳友
		12	新春山行(武奈ヶ岳)	雪稜
		11or19	ミーティング	ちご
16	理事会	17-19	志賀高原ゲレンデスキー例会	山友
		19	堂山(アイゼントレーニング)	岳友
		19	40周年記念祝賀会	雪稜
18-20	八ヶ岳・横岳 (雪山基礎講座2020/CSS)	22	ミーティング	彷徨
		25	ミーティング	岳友
		26	武奈ヶ岳	岳友
		26	菜の花なぎさ公園&三上山	ちご
		26	三重 子ノ泊山 千支山行	山友
30	理事会			
		2	愛宕山	雪稜
		2	比良(雪上訓練)	岳友
		9	立木山ハイク	ちご
13	代表者会議・理事会	9	高見山	岳友
		9	打見山～荒川峠	雪稜
14-16	奥美濃・土蔵岳～兎洞 (雪山基礎講座2020/CSS)	15-16	八ヶ岳連峰・天狗岳	岳友
		16	京都西山と保津峡歩き	岳友
2		16	定期総会	雪稜
		19	ミーティング	彷徨
		22	伊吹山地・上谷山 50座山行	山友
		23	樹氷ハイク・比良	ちご
		29	ミーティング	岳友

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



2020年1月号の原稿は、12月15日〆切です。

原稿の投稿先は tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp まで、用紙サイズは **B5**、
フォントは本文 **10.5~11**、タイトル **12~14**、余白は上下左右 **19mm**とし、
使用する写真は **200KB 以内**としてください。

皆様のご協力をお願いいたします。

「県連ニュース12月号」 No.509

発行日:2019年11月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0836

Email shigarosan@gmail.com

大津市杉浦町 9-30

ゆうちょ銀行（店名 418）

<http://shigarosan.jimdo.com/>

普通 0239956

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 高玉 敬子 古川 哲郎 渡壁 由美子